

【提出書類 E】 ※日本学生支援機構奨学金（貸与）申込用 指導教員推薦所見（大学院）

2024年 月 日

課 程 (○をつける)	研 究 科	専 攻	学 年	学 籍 (学生証) 番 号
修士 博士後期 専門職				
フリガナ				連 絡 先 (携帯電話番号)
氏 名				

◎申請者は日付と太枠線内をすべて記入してから指導教員に署名及び学力基準の確認等を依頼してください。

◎併用貸与（申込区分 4～7）の場合は 2 通提出してください（コピー可）

※指導教員（または専攻主任） 氏名：

（自署）

日本学生支援機構奨学金では、第一種奨学金（無利子）・第二種奨学金（有利子）・併用貸与の学業基準がそれぞれ以下のように設定されています。当該学生について、指導教員の所見として当てはまる場合はチェック(☑)を入れてください。

＜申請する課程が修士課程または専門職学位課程の場合＞

相当する奨学金種別	学 力 基 準	基準に合う場合☑
第一種 または 併 用 貸 与 相 当	大学等・大学院における成績が特に優れ、将来、研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を備えて活動することができると思われる。	☐
第二種 相 当	①又は②のいずれかに該当する。 ① 大学等・大学院における成績が優れ、将来、研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を備えて活動することができると思われる。 ② 大学院における学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められる。	☐

＜申請する課程が博士後期課程の場合＞

相当する奨学金種別	学 力 基 準	基準に合う場合☑
第一種 または 併 用 貸 与 相 当	大学・大学院における成績が特に優れ、将来、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力を備えて活動することができると思われる。	☐
第二種 相 当	①又は②のいずれかに該当する。 ① 大学・大学院における成績が優れ、将来、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力を備えて活動することができると思われる。 ② 大学院における学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められる。	☐

＜申請者が定職または週 21 時間以上のアルバイトに従事する場合＞

内 容	確認チェック
第一種・第二種 申請者は定職（または週 21 時間以上のアルバイト）に就いているが、そのために研究に支障をきたすことはないと思われる。	☐

本書にご記入いただいた情報は奨学金推薦業務のために利用され、それ以外の目的には利用されません。